

食育通信3月号

毎月19日は「食育の日」です。

食育の日に食育の話題に触れることにより、より食育に親しみましょう。

今月のテーマは

『農業・農村の多面的機能について知ろう』です。

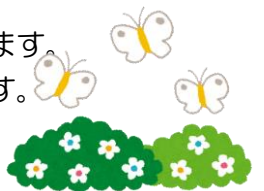
(食育通信2月号紹介のテーマから変更になりました件、お詫びいたします。)

みなさんは、日々の暮らしの中で、農業・農村が持つ、多くの機能の恩恵を受けていることをご存じですか。

水田や畑は、米や野菜・果物を生産するだけではありません。

洪水や土砂災害を防止し、空気や水をきれいにするなど、さまざまな機能を持っています。私たちの暮らしにさまざまな「恵み」をもたらしてくれる、重要な役割を果たしています。

実際にどのような機能があるのか、ご紹介します。



【土砂崩壊防止】	水田は地下水を調整し、 地すべりなどを防止 します。
【土砂浸食防止】	水田の水や農作物は、雨や風の影響を和らげ 土砂の流出を抑え ます。
【洪水防止】	水田や畑は、雨水を溜める働きがあり、 洪水を防止 します。
【水資源かん養】	水田の水は、地下に浸透し、 河川の流れを安定 させます。
【体験学習と教育】	農村は、 子どもたちが自然の大切さを学ぶ場 として活用されます。
【心と体の保養機能】	農村の豊かな自然は、生活で疲れた 心と体をリフレッシュ させます。
【良好な景観の形成】	農村は、農業が営まれることにより、 美しい自然や景観 が保たれています。
【伝統文化を継承】	農村では、 歴史ある行事・お祭り などが伝えられています。
【生物多様性の保全】	水田や畑は、 多種多様な植物や昆虫、動物のすみか となっています。
【大気の浄化】	田畑の緑には、 大気汚染物質を吸収 する働きがあります。
【気候緩和】	農作物や水田には、光合成や蒸発により 熱を吸収 し、 気候を緩和 します。
【水質浄化】	水田では、水中や土中の微生物が 有機物を分解 し、 水質を浄化 させます。



私たちの生活を支える農業・農村の機能を知り、地産地消の推進に努めよう。

食育通信は、**食育の日**に久留米市ホームページ、久留米市公式LINEにおいて発信します。食育関連イベント情報は、[久留米公式ホームページ『食育通信・食育イベント』](#)のページをご覧ください。

来月4月号の特集は「第4次食育推進プランの紹介」です。お楽しみに。

